

感謝

2015（平成27）年7月28日に開会した第23回世界スカウトジャンボリーは、8月8日、成功裏に閉会いたしました。これもひとえに皆さまのご支援によるものと深く感謝しております。9日には、日本国内でのホームステイや観光、あるいは帰国の途へと、すべての参加者が会場を後にしました。

第23回世界スカウトジャンボリーは、2008（平成20）年開催の第38回世界スカウト会議（韓国・済州島）での日本開催決定から、7年間にわたる国を挙げてのご支援・ご尽力を賜り、開催することができました。

2年前のプレ大会では、突然の雷雨に見舞われましたが、本大会では晴天続きの猛暑となりました。しかし、スカウトたちは元気にプログラムを楽しみ、確実に国際交流の輪を広げました。

世界155の国と地域からの約3万4千人にのぼる参加者にとって、この2週間は生涯忘れることのない貴重で有意義なものとなったことでしょう。

また、「広島ピースプログラム」には、連日4,000人規模の参加者が広島を訪れ、8月6日の平和記念式典には参加各国の代表が参列しました。同日、長崎にも代表が訪れ、今大会のテーマの1つである「平和」について考える機会をもつことができました。

そして、山口県の皆さまのご尽力により、大会に合わせて「やまぐちジャンボリーフェスタ」も開催され、多数のご参加を得ました。また、県内全ての市町において地域交流プログラムを行っていただき、大会を盛り上げると共に、多くの県民の皆さまと参加者が大きな「和」を作ることができました。

本大会を成功に導いてくださった皆さまの長年のご尽力に対し、最大の「弥栄」を贈るとともに、今後のますますのご健勝をお祈り申し上げます。

ボーイスカウト日本連盟は、2022（平成34）年に創立100周年を迎えます。本運動の発展と、未来を背負う青少年たちの成長に向けて、今後とも皆さまのご支援・ご厚情を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

平成27年8月

第23回世界スカウトジャンボリー

大会長 奥島 孝康

